

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 きいてよんでむかしばなしをたのしもう

2 単元の目標

- 昔話に興味をもち、進んで聞いたり読んだりすることができる。 (関心・意欲・態度)
- お気に入りの場面の様子が伝わるように、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読することができる。 (読むこと)
- 昔話の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすることができる。 (言語についての知識・理解・技能)

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む	言語についての知識・理解・技能
・昔話に興味をもち、進んで聞いたり読んだりしようとしている。	・自分のお気に入りの場面を、音読のポイントに気を付けて読んでいる。	・昔話の読み聞かせや音読を楽しんだり、独特の言い回しに親しんだりしている。

4 単元について

(1) 本単元で行う主たる言語活動

本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「イ 読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること」を〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「ア 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。」と関連付けて具体化し、昔話のもつ独特の口調や温かみのある言い回しの面白さが伝わるような音読をするという活動を設定する。

「天にのぼったおけやさん」は、昔から語り継がれてきた岡山県の民話を作者の水谷章三が教科書のために書き下ろしたものである。「むかし むかし」という言葉で始まり、次から次へとストーリーが展開する中で、児童が主人公の「おけやさん」になったつもりで楽しんで読み進めることのできる昔話である。繰り返し声に出して読んでいくうちに、児童が展開の面白さを楽しむと同時に、独特の語り口や言い回しの面白さなどに気付くことが期待できる作品である。

本単元では、「天にのぼったおけやさん」を読み、自分のお気に入りの場面の音読の工夫を考え、単元の最後に、学習参観の場で保護者に向けて音読発表会を行う。なぜその場面を気に入ったのか、理由をはっきりさせて、場面の面白さが伝わるように音読の工夫を考えていく。工夫した音読を発表したり、他の児童の発表を聞いたりすることで音読を工夫する楽しさを十分に味わわせたいと考えている。

また、昔話に親しみがもてるように、昔話の並行読書を行い、昔話特有の言い回しや言葉に触れる機会をつくっていく。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元は、学習指導要領1学年及び2学年の「C 読むこと」の目標「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」に基づき、指導事項ア「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること」及び、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「ア 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。」を受けて設定している。

本単元では、「天にのぼったおけやさん」について、お気に入りの場面の面白さを友達に伝えるために、その場面の様子が伝わるように音読を工夫することで、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読する力を身に付けさせたい。また、昔話の絵本を教室内に設置したり、読み聞かせをしたりすることで、古くから伝わるお話に興味を持たせ、その面白さを感じられるようにしたい。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

① 日常的な音読への取り組み

教師の選んだ詩やわらべうたを授業の初めの時間に扱ったり、毎日家庭学習に音読を出したりすることで日常的に音読に親しむことができるようにしている。本単元でも、授業の初めに詩を読んだりわらべうたを歌ったりと声出しをたくさんすることで、児童が抵抗を感じずに楽しみながら音読に取り組めるようにしていく。

児童の音読の基礎を作っていくうえで、明瞭な発音で文章を読むこと、ひとまとまりの語や文として読むこと、言葉の響きやリズムなどに注意して読むことが必要となってくる。このような活動を確かなものにするために、姿勢や口形など気を付けるべきポイントをまとめたものを、「音読の達人への道」と称して掲示し、子供たちが意識しながら音読に取り組めるようにしている。

本単元では、これまで学んできた音読のポイントに気を付けながら、自分のお気に入りの場面の様子を伝えられるように簡単な音読記号を使いながら音読の工夫をさせていく。

〈音読のポイント〉

1. よい姿勢で
2. 口をしっかりと開けて（口形に気を付けて）
3. 相手に伝わる声の大きさや速さで
4. 言葉のまとまりに気を付けて（分かち書きされているまま文節で読むのではなく、意味のまとまりを考えて読む）
5. リズムよく

〈音読記号〉

つ	つよく	よ	よわく
お	おおきく	ち	ちいさく
は	はやく	ゆ	ゆっくり

② 昔話に多く触れられる場を設ける

昔話を読む機会を増やすために、教室の後ろに昔話の絵本を集めたコーナーを設け、いつでも手にとれるような環境を作る。読んだ本は、本の記録カードに記入し、面白かったものや興味をもったものを書き溜めることで振り返ることができるようにする。また、朝自習や図書時間に担任や図書館指導員による昔話の読み聞かせを行ったり、昔話の朗読 CD を流したりすることで、本を読むのが苦手な児童も昔話に親しむことができるようにする。

5 指導計画（4時間扱い）

次	時	学習活動と内容	指導や支援の手だて ◇評価
一	1	○教師による「天にのぼったおけやさん」の音読を聞き、挿絵を手がかりにしながら、全体のおおまかな内容をつかみ、面白かったところを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を手がかりにしながら、話の内容をつかみ、面白かったところを発表させる。 ・「たが」や「ふろしき」などあまり身近でないものは、写真を掲示したり実物を見せたりすることで理解の手助けとする。 ・発表するときには、なぜそう思ったのか根拠も言うよう促す。 ◇物語の展開を理解し、感想を発表している。 【関】 （発言）
	時間外	○朝自習の時間を利用して、並行読書している昔話にも同じように独特の口調や言い回しがないか見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・「天にのぼったおけやさん」以外の昔話からも見つけさせることで、昔話の独特な口調や言い回しに親しむことができるようにする。 ◇昔話の読み聞かせや音読を楽しんだり、独特の言い回しに親しんだりしている。 【言】 （発言）
	2	○「天にのぼったおけやさん」を音読し、意味がわかりづらい言葉を確認したり、面白いと思った言葉や言い回しを見つけたりする。 ○おけやさんの行動を中心に、話の展開を整理して、内容をつかむ。 ○音読したいお気に入りの場面を選び、どんなところを気に入ったのか書く。	並行読書 <ul style="list-style-type: none"> ・独特な口調や面白い言い回しに注目することで、お気に入りの場面を選ぶ手がかりにもなるようにする。 ・挿絵を、場面の様子を想像する手助けとしながら内容をつかんでいく。 ・読みたい場面がなかなか決まらない子には、面白いと思った言葉を中心に考えたり、挿絵を参考にしたりしながら選ぶよう促す。 ◇紹介したい場面を進んで選ばうとしている。 【関】 （ノート）

	<p>3 (本時)</p>	<p>○お気に入りの場面の様子が伝わるように、音読の工夫を考える。</p> <p>○音読の練習をする。</p> <p>○友達と音読を発表し合い、よかったところを伝え合う。</p>	<p>並 行 読 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に声に出しながら、つかえてしまう言葉には、赤線を引くようにする。 ・読み方を工夫したいところに、線を引き、音読記号を書き込む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(っ) つよく</td> <td style="text-align: center;">(よ) よわく</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(お) おおきく</td> <td style="text-align: center;">(ち) ちいさく</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(は) はやく</td> <td style="text-align: center;">(ゆ) ゆっくり</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表をする前に、自分の選んだ場面のどんなところを気に入ったのかを伝えるようにさせる。 ・「音読のポイント」に気を付けて読んでいる児童を紹介する。 <p>◇自分のお気に入りの場面を、音読のポイントに気を付けて読んでいる。</p> <p>【読】 (観察、プリントへの書き込み)</p>	(っ) つよく	(よ) よわく	(お) おおきく	(ち) ちいさく	(は) はやく	(ゆ) ゆっくり
(っ) つよく	(よ) よわく									
(お) おおきく	(ち) ちいさく									
(は) はやく	(ゆ) ゆっくり									
<p>二</p>	<p>4</p>	<p>○音読発表会をする。</p> <p>○友達の発表のよかったところを伝え合う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・発表をする前に、自分の選んだ場面のどんなところを気に入ったのかを伝えるようにさせる。 ・「音読のポイント」を押さえているか、場面の様子が伝わってくるか意識しながら聞くように促す。 <p>◇自分のお気に入りの場面を、音読のポイントに気を付けて読んでいる。</p> <p>【読】 (観察、プリントへの書き込み)</p> <p>◇友達の発表する場面に興味をもち、最後まで聞いている。【関】 (観察)</p>						

6 本時の指導（3／4）

（1）目標

○お気に入りの場面の様子が伝わるように、自分のお気に入りの場面を、音読のポイントに気を付けて読むことができる。 （読む）

（2）展開

学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◇評価						
<p>1 今まで読んできた詩を読んだり、わらべうたを歌ったりしながら声出しをする。</p> <p>2 学習の見通しをもつ。 ○これまでの学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p>	<p>○たくさん声を出したり口を動かしたりすることで、児童がこれから楽しみながら音読できるような場を作る。</p> <p>○「音読のポイント」を意識するよう促す。</p> <p>○本時では、お気に入りの場面の様子を伝わるように音読を工夫していくことを伝える。</p> <p>○音読メモの書き方を確認して、本時の活動のイメージをもてるようにする。</p>						
<p>おきにいりのばめんのおもしろさがつたわるように、おんどくしよう。</p>							
<p>3 お気に入りの場面をそれぞれ読み、音読の工夫を考えてプリントに書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじきとばされて」は読みづらいから何度も練習しよう。 ・かみなりさんの「なにを しとるか」は、驚いたように強く読もう。 ・おけやさんの「へえ」「とばされてなあ…」は困っているように小さな声で読もう。 ・「ドーン ゴロゴロ」は、雷だからだんだん大きな声で読もう。 	<p>○つかえてしまうなど、読みづらいと感じる言葉には赤線を引くようにさせる。</p> <p>○昔話の独特の口調や言い回しなど、工夫したい言葉に線を引き、音読記号をつけるようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(っ) つよく</td> <td style="text-align: center;">(よ) よわく</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(お) おおきく</td> <td style="text-align: center;">(ち) ちいさく</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(は) はやく</td> <td style="text-align: center;">(ゆ) ゆっくり</td> </tr> </table> </div> <p>○登場人物の行動や台詞を、動作化したり実際に声に出してみたり、登場人物になりきることでその様子を想像する手助けとする。</p>	(っ) つよく	(よ) よわく	(お) おおきく	(ち) ちいさく	(は) はやく	(ゆ) ゆっくり
(っ) つよく	(よ) よわく						
(お) おおきく	(ち) ちいさく						
(は) はやく	(ゆ) ゆっくり						
<p>4 音読の練習をする。</p>	<p>○「音読のポイント」を意識するよう促す。</p>						
<p>5 友達と音読を発表し合い、よかったところを伝え合う。</p> <p>① 自分の選んだ場面のどんなところを気に入ったのかを伝えてから発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おけやさんが雲の上から、水ぶくろをふりまいて、雨を降らせるところがおもしろくて選びました。 	<p>○発表をする前に、自分の選んだ場面のどんなところを気に入ったのかを伝えるようにさせる。</p> <p>○「音読のポイント」を参考にして、できていたところがあればたくさん伝え合うよう促す。</p> <p>◇お気に入りの場面の様子が伝わるように、語のまともりや言葉の響きに気を付けて音読している。（読む）</p>						

<p>・ひたいとひたいが「ゴチゴチゴチン」とぶつかるところが好きなので選びました。</p> <p>② 友達の発表を聞いてよかったところを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい姿勢で読んでいて良かったです。 ・声がとても聞き取りやすかったです。 ・おげやさんが困っているときに小さな声で言っているところが良かったです。 <p>6 全体で、何人かの発表を聞く。</p> <p>7 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表でいいなと思ったことや、自分の音読にも生かしたいなと思ったことを発表する。 	<p>◇友達の発表を最後まで聞き、よいところを見つけて伝えようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>○早く終わった児童には、もう一度一人ずつ音読の工夫を見直したり、練習したりするよう伝える。</p> <p>○音読の工夫に気を付けて読んでいた児童を紹介する。</p> <p>○次回の音読発表会では、今回の授業で上手くできたことや上手に音読していた友達の工夫を生かしながら発表することを伝える。</p>
--	--